

第696回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

I B Cテレビ

「いわて見聞録 R i n a ×フルーツ —世界に挑む18歳—」

2025年1月28日(木)

(株) I B C 岩手放送

第696回IBC番組審議会

1. 開催日時 2025年1月28日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBC岩手放送 Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 10名

出席委員の氏名

委員長	田代 高章
副委員長	熊谷 志衣子
委員	柴田 千春
	菊地 文彦
	後藤 高宏
	四戸 聡
	澤口 たまみ
	繁田 奈菜子
	龍澤 尚孝 (レポート)
	高橋 司 (レポート)

会社側出席者

眞下 卓也	代表取締役社長
八木 宏樹	常務取締役編成局長
兼平 宗彦	取締役メディアセンター長
堀米道太郎	報道制作部担当部長
亀田真太郎	報道制作部記者

事務局

大志田 融	番組審議会事務局長
切替 郁恵	番組審議会事務局員
平澤 泰志	番組審議会事務局員

4. 議題

IBCテレビ 11月30日水曜日午後4時半～午後5時放送

「いわて見聞録 Rina×フルーツ ―世界に挑む18歳―」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 18歳のフルート奏者、岡本梨奈さんに密着し、中学校2年生のときの全国優勝から始まって、岩手の逸材をずっと追いつけた30分番組は、大変素晴らしい内容。音楽の良さ、フルートの良さを伝えたいという気持ちが伝わってきて、自然体でおやかな人間性も感じ取ることができた。
- 豊富な映像を紹介しながら家族や先生、友人のインタビューを挟んで構成していく展開が見事。心からファンになり応援したくなった。岩手で夢に向かって全身全霊で頑張っている若者の心を打つというか、背中を押すような番組だった
- 東京での高校生活に全く気おくれを感じさせない堂々とした梨奈さんの姿にも驚きを感じた。世界に挑戦することに対する不安や戸惑いを抱かないその前向きな姿勢は番組を見た人にとっても大きな励みになると思う。
- 音楽の世界では英才教育を受けている方も多いと思うが、小学校の吹奏楽部でフルートに出会い、その後トントン拍子に大会で勝ち抜くのはすごい。本当に珍しいレアなケースではないか。世界に羽ばたく演奏家になってほしい。
- 家族関係の描いた場面で、「お母さんのご飯が食べたい」、「今はスーパーの弁当を食べていますお父さんと」「フルートはお母さんが買ってくれた」などのシーンは不思議な気持ちになった。どういう意味だったのだろうか。
- 最終的な目標は何で、そこに至るためにはどのようなプロセスを経る必要があるか等、もう少し具体的に追った方が見ている方はわかりやすかったと思う。
- 取材対象者との事前の関係作りがすごくうまく行って番組になったのだと、取材した人の努力も感じた。
- 今後も追いつけて欲しい。こういう岩手県出身の芸術家等の番組は県民として嬉しく思うし、応援するきっかけを作れると思う。